

「里楽暮住（リラックス）しもやま会」とは



【設立の経緯】

平成21年に下山地域会議において、地域課題の解決として定住促進について検討されました。

さらに、平成22年に30集落及び代表者でワークショップを行い、「しもやま住んでみりん定住促進計画」を策定し、この計画の中で、推進組織の設立が提案されました。

この提案を受けて平成23年6月、地域代表23名が集まり、定住促進や地域活性化を推進するための住民主体の組織、「里楽暮住しもやま会」が設立されました。

【過去の取組み】

- ・各集落の現状や課題の洗い出しを行う集落カルテの作成
- ・定住促進のリーダー養成勉強会や定住促進の先進地視察の実施
- ・小規模での宅地分譲である2戸2戸作戦事業の推進
- ・若者の出会いづくりの場を提供するイベント「しもコン」の実施
- ・空き家、空き地の発掘のための調査
- ・定住に関するアンケートや子どもたちとの意見交換会の実施
- ・しもやま支所だよりや市のホームページによる情報発信

【会の現状】

現在は、自治区の推薦により、黒木浩次（くろきこうじ：花沢町）会長をはじめ15名で、主に第2火曜日に活動しています。

※**里楽暮住**の語源は、しもやま住んでみりん定住促進計画の将来像である

「**里**の恵みと地域の絆に包まれて自分らしく（**楽**しく）暮らし（**住**み）続けられるまち」から来ています。